



社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会 広報誌

笑顔あふれる支え合いのまち なは



この広報誌は、共同募金の配分並びに皆様からの
社協会員会費により作成されています。

No.161 令和3(2021)年

社協だより5

令和2年度より
毎月発行に
リニューアル
しました!

月号



令和3年度 児童福祉週間標語

あたたかい
ことばがつなぐ
こころのわ

かみむら あいこ
上村 藍子さん 11歳 香川県



子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間」と定めています。

那覇市社協では、児童館の運営やファミリーサポートセンター事業、育児支援家庭訪問事業、子どもと地域をつなぐサポートセンター系の運営など子供たちに対する支援活動を行っています。

もくじ

- 児童福祉週間..... 1
- 令和3年度 那覇市社会福祉協議会事業計画... 2

特集

- コロナ禍でもつながり育つ... 4
- 子どもと遊び
- 児童館・ファミサポ・育児支援・いと
- 活動アラカルト..... 6
- 新人職員紹介..... 7
- ボランティア情報..... 8



Facebook・Twitterもやってます!
フォローして、チェックしてみてください!

那覇市社会福祉協議会
<http://www.nahasyakyo.org>



COCOAR アプリで表紙全体をかざしてみてね!



このマークがついてる記事にスマートフォンや
タブレットをかざすと写真や動画がみれます!
(アプリのダウンロードはP8をご覧ください)



令和3年度 那覇市社会福祉協議会 事業計画



本会理念『市民の笑顔あふれる支えあいのまちなは ～信頼される社協を目指して～』

コロナ禍で直面する課題や新たな取り組み、様々な地域生活課題の対応に向けて、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を要に、多様なネットワークをつくることが重要な役割であることを認識し、県・那覇市、地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉法人・福祉施設、NPO、企業、さらには福祉以外の分野も含む幅広い関係者と連携・協働することで、めざす地域の姿を共有し地域福祉を推進してまいります。

また、那覇社協経営の基盤強化を重点目標とした「那覇社協第4次強化発展計画」に基づく、3つのプロジェクトチームを中心に役職員一丸となって、職員の地区担当制を継続し各部署が有機的に繋がりを局内連携体制を確立させていきます。社協の総合力を発揮し相乗効果による課題解決力を高め、局内の多職種による相談機能を強化していきます。

重点項目

1. コミュニティソーシャルワーク機能の強化
 - ・校区まちづくり協議会、福祉団体等との連携による地域の見守り体制強化
 - ・社会福祉法人等による地域貢献事業の取り組み推進
 - ・総合相談体制の構築
2. 子どもの居場所ネットワーク化と食支援による企業連携
3. 介護事業等の経営改善と自主財源の充実強化
4. 第2次地域福祉活動計画及び第4次強化発展計画の進捗管理

実施事業

法人経営部門（企画総務課）

適切な法人運営や事業経営を行うとともに、総合的な企画や各部門間の調整等を行う社協事業全体のマネジメント業務にあたります。加えて、地域福祉活動を安定的に持続させるため、組織や財源基盤の確立を目指します。

1. 会務の運営
2. 法人運営・経営の適正化と透明性
3. 人材育成及び人事管理
4. 広報活動・広報戦略
5. リスク管理やコンプライアンスに関する管理体制
6. 第4次強化発展計画の進行管理
7. 赤い羽根共同募金・歳末助け合い運動
8. 重度心身障害者医療費等貸付事業（市補助）

地域福祉活動推進部門（地域福祉課）

地域住民や多様な組織・関係者の連携・協働による地域生活課題の解決や地域づくりに向けた取り組みの支援、福祉教育・ボランティア活動を通じた地域住民の主体形成、地域の組織・関係者の協働を促進し、地域福祉推進の中核的な役割を果たします。地域の人材・拠点資源の掘り起こしを行い、住民参画に

より誰もが参加できるネットワークづくりの契機とします。

1. ボランティア振興事業
 - ボランティア・市民活動センター支援体制の強化
 - 福祉教育・ボランティア学習の推進
 - 災害ボランティアセンターの運営及び災害時における支援体制の構築
2. 安心生活創造推進事業（市受託）
 - 関係機関との連携ネットワークづくり
3. 生活支援体制整備事業（市委託）
4. 那覇市地域支えあい訪問型サービス事業（市委託）
5. 社会福祉法人ネットワーク事業（県社協補助）
6. 移動支援サービスモデル事業 新規
7. 那覇市地域ふれあいデイサービス事業（市委託）
8. 子どもの支援団体等へのサポート事業「糸」（市委託）
9. こども食堂サポート機能設置事業（休眠預金等活用事業助成）
10. 地域福祉財源の造成、助成事業の実施
11. 共同募金委員会と連携した共同募金・歳末助け合い運動の実施
12. 第4次地域福祉計画及び第2次地域福祉活動計画の推進

相談支援・権利擁護部門（地域福祉課）

生活支援に向けた相談・支援活動、権利擁護支援、情報提供・連絡調整を行います。

1. 日常生活自立支援事業（県社協委託）・生活保護世帯金銭管理支援事業（市委託）
2. 法人成年後見事業
3. 生活福祉資金貸付事業（県社協委託）
 - コロナ禍における生活困窮者自立支援制度の対応と低所得者等への支援
4. ふれあいのまちづくり事業（ふれあい相談室）
 - 総合相談体制の構築

介護・生活支援サービス部門（在宅福祉課）

介護保険サービスや障害福祉サービス、行政からの委託・補助で行うその他のサービスを提供します。その人らしい生き方・生活を尊重するため、必ずしも制度の枠にとらわれることなく、必要に応じて柔軟にサービスを提供する地域福祉型福祉サービスをめざします。

1. 居宅介護支援事業所
2. 通所介護事業（デイサービスあしびなー）
3. 訪問介護事業・障害福祉サービス事業（ホームヘルプステーションわかば）
4. 障がい者特定相談支援事業・障害児相談支援事業（障がい者生活支援センターゆいゆい）
5. リフト付きバス運行事業（市委託）・一般旅客運送事業
6. ファミリーサポートセンター事業（市委託）
7. 育児支援家庭訪問事業（市委託）

指定管理運営事業（5年契約3年目） （福祉施設課）

総合福祉センターをはじめ、各施設における指定管理の適切な運営と多世代交流の仕組みについてこれまで同様、関係団体と連携を密にしながら那覇市における地域福祉活動の拠点として、これまでの経験、実績を踏まえて拠点を活かした地域活動の推進に努めます。指定管理施設の福祉拠点・地域の社会資源を活用し、見守り隊や居場所づくりにつなげ、運営の主体を地域による住民参加で地域力の強化を図ります。

1. 那覇市総合福祉センター指定管理運営
2. 老人福祉センター・憩の家（金城・識名・小禄）の指定管理運営
3. 児童館（金城・識名・小禄）の指定管理運営
4. つどいの広場事業（市委託）



令和3年度 那覇市社会福祉協議会 予算

収入の部

	勘定科目（大）	令和3年度予算額（円）	構成率 %
1	会費	7,000,000	0.9%
2	寄付金	9,500,000	1.2%
3	共同募金	20,387,000	2.5%
4	市補助金	43,735,000	5.4%
5	市受託金	303,853,000	37.7%
6	県受託金	25,672,000	3.2%
7	介護保険・障害福祉サービス	270,679,000	33.6%
8	助成金収入・事業収入・雑収入・利息収入・その他収入	26,291,000	3.3%
9	拠点区分間繰入金収入・基金・繰越金等	99,211,000	12.2%
	合計	806,328,000	100.0%

支出の部

	勘定科目（大）	令和3年度予算額（円）	構成率 %
1	人件費支出	581,372,000	72.1%
2	事務費支出	27,590,000	3.4%
3	事業費支出・固定資産支出	153,297,000	19.0%
4	分担金・助成金・負担金・借入金利息	11,098,000	1.4%
5	拠点区分間繰入金支出	17,770,000	2.2%
6	積立預金積立	150,000	0.0%
7	その他の支出・予備費	15,051,000	1.9%
	合計	806,328,000	100.0%

コロナ禍でもつながり育つ子どもと遊び

自分でつくったよ！
かっこいいでしょ！！



▲識名児童館

制作あそび！

“困ったときはお互い様！” 那覇市ファミリーサポートセンター



ファミリーサポートセンターは、厚生労働省がすすめる「地域子ども子育て支援事業」の一環で、子育て世代（赤ちゃんから学童期）を地域でサポートする相互援助活動組織です。那覇市社会福祉協議会の一角に窓口を構える那覇市ファミリーサポートセンターは設立から18年目を迎え、会員数が2,940人（2021年4月現在 依頼会員約2,600人、協力会員約260人）となっています。

サポートの依頼は4人のアドバイザーで対応しており、4日間の保育サービス講習を修了・登録した協力会員の方々が、育児補助や保育園、学校、習い事への送迎などのサポーター（有償ボランティア）として活動しています。2019年度依頼は約7,000件でしたが2020年度は約4,800件と減少しており、新型コロナによる生活の変化が依頼件数にも表れています。子どもたちが伸び伸びと遊べる日常が、一日も早く戻ってほしいものです。（担当：外間）



相互援助活動の流れ

本棚の空きスペースにスッポリ！



▲小禄児童館（図書室）

小禄・識名・金城児童館

児童館は、こどもの居場所として地域に開かれた児童厚生施設です。那覇市の委託を受け、那覇市社会福祉協議会では「小禄児童館・識名児童館・金城児童館」を管理・運営しています。心身の健やかな成長を育むことを目的とし、幅広い年齢の児童（0歳～18歳まで）のあそび場として活用されています。未就学児親子を対象とした『つどいの広場』もあわせて開設していますので、利用については各児童館へお気軽にお問い合わせください。（担当：村吉）

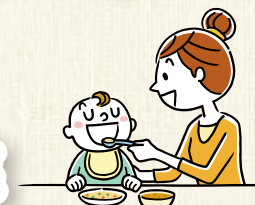
未就学児親子が利用できる 『つどいの広場』もあります！

- 小禄児童館
（つどいの広場ほのぼの）
098-857-5377
- 識名児童館
（つどいの広場ランラン）
098-854-9656
- 金城児童館
（つどいの広場さんさん）
098-859-0099



▲識名児童館 花だん作り

育児支援 家庭訪問事業



育児支援家庭訪問事業は養育者の自立を目標にしている事業で、平成17年に那覇市から本会へ委託となりスタートしました！この事業は、身内の方や近隣からの子育てで支援が得られにくく困っているご家庭に、家庭支援員が自宅に出向き、子育てのお手伝いをします。対象は妊娠・出産等で育児に対して強い不安やストレスを感じている方や、養育上の問題を抱え、支援が必要な家庭など様々な方が対象です。



わたしたちが
サポートします！

基本、平日の8時～18時内で週1～2回、1回1時間程度の支援を行います。支援期間は1クール3カ月間、支援は無料で受けられます。

家庭訪問による支援で育児の負担感を少しでも軽減し、ご家庭で安定した子どもの養育ができる事を目指しています（^^）（担当：上原）

お問合せ：那覇市こどもみらい部子育て応援課
子育て支援室（TEL098-861-5026）

子どもの居場所を応援！！

那覇市では「子どもの居場所」が3月に42か所に増えました。子どもの居場所は誰でも遊びに来ていいところで、ご飯やおやつが食べられたり、遊べたり、勉強を教えてくれたりする場所です。「地域の子は地域で育てよう」を合言葉に、地域のボランティアさんや食べ物屋さんさんが安心して楽しめる居場所づくりを頑張っています。

本会（糸）では、①居場所立ち上げ時や活動でのアドバイス、②企業や個人からの応援寄贈物資の受け取り調整、③ボランティアのマッチング、④居場所同士が意見交換する場「なは子どもの居場所ネットワーク」の事務局などを担って、居場所を応援しています。

最近では、ヨガ体験や料理体験、料理のフルコース体験ができる居場所も誕生したので、ぜひ遊びに行ってみてください。（担当：浦崎）



▲なは子どもの居場所
ネットワークMAP [第3版]



子どもと地域をつなぐ
サポートセンター



居場所一覧
Google MAP





提供・寄贈物資お渡し会 居場所から感謝の声

企業や個人から提供いただいた物資を子どもの居場所にお渡しする会を3月19日に本会で開催しました。居場所活動に必要な調味料やお米などの食料品、調理器具、筆記用具などを並べて、居場所20団体が吟味しながら受け取りました。直接手に取ることで必要なものを厳選でき、より大切に使うことにつながります。居場所スタッフは「大量に使う調味料は助かる」「保存容器もありがたい」と感謝していました。ボランティア養成講座の登録者も物資の整列や運搬を手伝ってくれました。寄贈物資は活動費を抑え、持続的な居場所活動につながります。今後とも、子どもの居場所をよろしく願います。(担当:上原)



8万円分の調味料を寄贈 三井住友海上火災保険

三井住友海上火災保険沖縄支店が3月11日、那覇市内の子どもの居場所を支援しようと8万円分の調味料や食材を寄贈してくださいました。本会を訪問して子どもの貧困問題や現状について学び、居場所活動で需要が高いパスタやカレー、醤油、油、料理酒、片栗粉などを贈ることになりました。松宮支社長は「困窮状況や支援方法、活動によって、求められる食材も違うことも分かった。今年に限らず、ずっと続けていきたい」と話してくださいました。(担当:浦崎)



新1年生へ
ノートのプレゼント!

5月12日は民生委員児童委員の日

5月5日(こどもの日)から1週間は児童福祉週間です。今回は16民児協の中から那覇第2民生委員児童委員協議会の児童委員活動を紹介します。那覇第2民児協は、地域住民の状況を把握するために、「新一年生の全戸家庭訪問」活動を実施しています。訪問の際は、入学お祝いとしてノートや鉛筆をお渡ししながら、児童や保護者へ担当地域の民生委員・児童委員として活動内容を説明しています。また、月に1回は学校側との児童見守り会議を開催し情報共有をしながら地域の見守り活動を実施。しかし残念ながら去年は新型コロナウイルスの影響により家庭訪問が出来ない状況が続いており、一日でも早く家庭訪問活動が再開できることを楽しみにしています。(担当:民児連)



民生委員児童委員さんと共に

民生委員児童委員さんは地域の身近な相談窓口と言われるように地域住民に寄添いながら住みよい地域づくりの為に、日々、尽力していらっしゃいます。しかし、今、民生委員児童委員の担い手不足や高齢化が課題となっています。この課題を自治会住民と一緒に考える『地域福祉懇談会』を、首里第一民児協と欠員地域となっている久場川市宮住宅自治会で開催しました。その中で、12人中11の方が民生委員児童委員はやはり地域には必要だと感じるとの声がありました。今後も地域の方の声を聞きながら、私達、社協職員も一緒に考えていきたいと思います。(担当:玉城)



▲久場川市宮懇談会



今年度、那覇市社会福祉協議会に 5名の新人職員が入社しました!



新しく
仲間になった
新人職員さんに
インタビュー!

先輩より一言

健康第一です。陰ながら見守っています。
(地域福祉課 神田 貞幸)

全ての出会いに感謝して、寄り添う心を大切に。困った時はいつでも先輩、上司を頼って下さい。
(在宅福祉課 與古田 ちはる)



高江洲太我

所属課/地域福祉課

主担当事業名
日常生活自立支援事業

趣味 温泉(サウナ)

志望動機 地域の人に愛され信頼されるよう働き、市内の小中学校に福祉とは何かを考えてもらえるような仕事

目標 笑顔を大切に働き、多くの人に名前を覚えてもらう。



高澤祐樹

所属課/地域福祉課

主担当事業名
地域支えあい訪問型サービス事業

趣味 読書、マラソン

志望動機 福祉業界に興味を持ち始めたのは、沖縄の子どもの貧困問題がきっかけです。実習や前職で一人親家庭への支援をした経験を通して「地域福祉」に携わりたいと思いました。

目標 仕事に関わる方々や利用者との関係を大切に、日々勉強する姿勢で励んでいきます。



野原祐樹

所属課/地域福祉課

主担当事業名
安心生活創造推進事業 首里地区

趣味 体を動かすこと

志望動機 多職種と連携し、地域住民の住みやすいまちづくりに貢献したい。

目標 地域で暮らす方々と共に支え合う姿勢を大切にしながら学んでいきます。先輩方から教わりながら新しい環境に早くなれるよう、新人らしく元気に頑張ります。



福仲汐里

所属課/在宅福祉課

主担当事業名
障がい者相談支援事業ゆいゆい

趣味 音楽鑑賞、水泳

志望動機 社協に勤めて7年目、もっと地域福祉について学びたい、社協に貢献したいと考え志願しました。

目標 継続して「ゆいゆい」で今後も本人の想いを尊重した支援ができるよう頑張ります。



林佑奈

所属課/地域福祉課

主担当事業名
生活支援体制整備事業

趣味 写真、散歩

志望動機 福祉に関わる人をもっと増やしたい!自然に助け合える地域づくりをしたいと思ったから

目標 信頼してもらえるような支援員になります。



医療保険療養費
支給申請ができます

ご自宅や介護施設まで
出張施術します



沖縄本島全域、および宮古島、伊良部島、石垣島、
八重山諸島、久米島、伊江島で訪問治療します。

治療内容 はり、お灸、マッサージ

琉球治療院

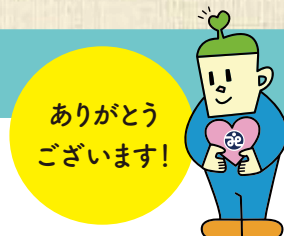
詳しくはwebを検索!

琉球治療院

お気軽にお問い合わせください
【営業時間 9:00~18:00】

0120-680-006

ボランティア BOX 取組団体 (〇月受付団体) ※順不動



1. 野崎とき子
2. 比嘉昌子
3. 保里多貴
4. 我那覇純子
5. 小橋川正吉
6. 汀良市営住宅 仲地隆
7. 汀良市営住宅 山川千代
8. 社会福祉法人 豊春福祉会 こくら保育園
9. BIZ.REFINE 株式会社
10. 天久小学校 ボランティアクラブ
11. 石川外科クリニック
12. 医療法人 瞳会 外間眼科
13. 那覇市役所 こどもみらい課 まちなみ共創部
14. 那覇市役所 市営住宅課
15. 児童福祉 交通安全担当課
16. 那覇市包括支援センター 大名
17. 那覇市ふれあいデイサービス運営協議会 みはらし長寿会
18. 株式会社 祖慶電設工業
19. 那覇市役所 ハイサイ市民課



社協へのお手紙

市民の皆さまから、那覇市社会福祉協議会についての、ご意見ご要望を聞かせて頂くための、投函箱に、本会にとってありがたいお便りが届きました。心温まるメッセージとても嬉しく思います。これからも、市民一人ひとりの声に耳を傾けていく感謝と笑顔を大切にしたい対応を心がけて参ります。(貸付担当者)

コロナの影響で、生活福祉資金の貸付等お世話になっております。精神的に苦しい中、これだけの申込者が多く来所する中で、親切に対応していただけることに、心から感謝します。那覇市民でよかったと心から思います。今後とも、職員の皆さん、体調にお気を付けて頑張ってください。皆さんの支援に報いるよう私たちも頑張ります。(匿名希望)

特例資金(緊急小口資金と総合支援資金)の申し込み期間延長について

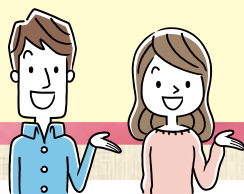
新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、休業や雇止め、解雇等により生活資金でお困りの世帯に対して、2種類の特例貸付(緊急小口資金と総合支援資金)の申し込み期間が、6月末日まで延長になりました。

緊急小口資金

- 貸付上限額：20万円以内
- 据置期間：1年以内
- 償還期限：2年以内
- 貸付利子：無利子
- 保証人：不要

総合支援資金

- 貸付上限額
 - ・単身世帯：月15万円以内
 - ・(2人以上)世帯：月20万円以内
- 貸付期間：原則3月以内
- 据置期間：1年以内
- 償還期間：10年以内
- 貸付利子：無利子
- 保証人：不要



寄附者ご芳名

令和3年3月10日～令和3年3月31日までの
寄附金状況(敬称省略)

2,297,305円

一般寄付

安里正子・安村美智子・AA なはグループ・
知念米子・三和金属株式会社・OBC 連盟
女性会 国際祈祷日委員会・沖縄県農業協同
組合 小禄支店・新垣貞弘・匿名

香典返し

新垣太樹

令和2年4月1日～令和3年3月31日

寄付金総額 **11,926,942円**

無料アプリを
ダウンロード!



1. 「パンダマーク」のある写真にスマホをかざす。
2. 自動的にスキャンが始まります
3. 認識されると、写真が動画がみれます!



編集後記

那覇市の福祉バスが、1999年5月7日から、運行開始して早22年。2台のバスが、老人福祉センターを中心に巡回バスとして高齢者にやさしく無料で運行している。この度、「私たちの地域もまわってほしい。」「もっと買い物ができるコースも組んでほしい」という声をもとに、新たにリニューアルしてスタートしています。コロナ禍で外出を控える現状において、3密を守り那覇市の「ふくちゃん号」にのって、街を闊歩してみたいかがですか。(山ちゃん)